

令和8年度第1回 小林市国民健康保険運営協議会 議事録
(令和8年6月議会関係)

【開催日時】 令和8年5月26日(火曜)
午後6時50分から午後7時50分まで

【開催場所】 小林市役所 本館2階 会議室1

【出席者】

委員

公益代表	高妻 賢士	会長
	吉脇 辰男	副会長
	中田 照明	委員
	柿木 由紀子	委員
保険医代表	小城 研二	委員
	松元 直樹	委員
被保険者代表	岩松 浩	委員
	竹山 真弓美	委員
	有木 鈴子	委員
	中村 真由美	委員

事務局

市民生活部長	税所 將晃
ほけん課	
ほけん課長	今村 祥二
総務グループ	谷山 真紀
納税グループ	山元 康敬
後期グループ	児玉 三千代
国保グループ	山下 祐徳
健康推進課	
健康推進グループ	吉丸 奈保子
健康推進グループ	川原 真砂子

【欠席者】

委員

保険医代表	園田 定彦	委員
	竹之内 剛	委員
被用者保険代表	富田 洋平	委員

【会議成立の要件】 13名中10名出席。出席者が過半数につき会議は成立した。

【次第及び議事結果】

1 開会 今村ほけん課長 が進行を行った。
令和8年に人事異動による新たな職員（今村ほけん課長、健康推進課吉丸主幹）の自己紹介を行った。
会議録作成のため会議内容を録音すること及び会議が成立することを伝え開会。

2 会長あいさつ 高妻会長 があいさつを行った。
足元の悪い中、出席いただき当にありがとうございます。
引き続き会長をします。よろしくお願いいたします。
議事についてご意見や質問等ございましたらお聞かせいただきたい。

3 事務局あいさつ 税所市民生活部長 があいさつを行った。
国民健康保険事業の運営に深い理解とご協力に感謝する。
今年度から保険税に子ども・子育て支援金加わり被保険者には負担をお願いする。国民健康保険事業の運営状況は厳しいが、いただいた保険税等により安定的な運営と保険事業にも積極的に取り組んできたい。
6月議会に上程する議案の審議をお願いします。

4 議長選出 慣例により高妻会長が議長を務めた。

5 議事

議題1 小林市国民健康保険税条例の一部改正（案）について

- ・ 谷山が 概要の説明を行った。
- ・ 1 ページ

1. 国民健康保険税の賦課限度額の引き上げについて

法令の改正により基礎課税額が66万から67万円に、子ども・子育て支援納付金分が3万円になり全体の限度額は109万円から113万円になる。これにより約147万円の増収が見込まれる。

2. 国民健康保険税の軽減対象の拡大について

法令の改正により被保険者数に応じて控除する基準の金額が5割軽減で30万5,000円から31万円に、2割軽減で56万円から57万円に引き上げられる。これにより軽減を受ける世帯が24世帯増加し、約75万円の減収が見込まれる。

- ・ 2 ページ
 - 3.国民健康保険税に係る税率及び税額の改定について、
表1 現在の税率と税区分の割合
 試算したところ当初歳入予算に対し、約 79 万円の超過が見込まれるため税率改定を行わない考えである。
表2 保険税改定の推移
 令和 8 年度は子ども・子育て支援納付金分の増額になる。
表3 赤字補てん財源
 令和 8 年度は約 3 億 5 千万円を見込んでいる。

意見、質疑

- ・ (岩松委員) 子ども・子育て支援金のお金の流れを教えほしい。
 (谷山) 市が保険税で徴収し、納付金として宮崎県へ納めた後国へ納付する流れになる。
- ・ (岩松委員) 子ども・子育ての徴収税率は一律なのか。
 (谷山) 保険者が定める税率なので、自治体ごとに違います。

承認の可否→ 承認

議題 2 令和 8 年度 小林市国民健康保健事業特別会計 6 月補正予算 (案) について

- ・ 4 ページ
 歳出補正予算
 予算科目 1 総務費 21 万 1 千円は国から示された様式について子ども・子育て支援制度システム改修を行ため。改修費用は国からの補助金が充当される。
- ・ 3 ページ
 歳入補正予算
 予算科目 1 国民健康保険税の 79 万 4 千円の増額補正、予算科目 7 繰入金 58 万 3 千円を減額補正し、歳入歳出ともに 21 万 1 千円の増額補正となる。

意見、質疑

- ・ なし

承認の可否→ 承認

議長降任

6 特定健診について

- ・ (吉丸主幹) ※特定健診・がん検診の発送した案内文書を説明

- ・ 6月1日から来年の1月31日までの機関で実施する。
(発送日 5月22日、発送数 約3万通)

※検診について

- ・ ピンク色の用紙は、受診できる検診を表示した一覧。対象の方は○が記載されている検診が受診できる。緑色は肺がん・結核レントゲン検診の受診票、黄色が国保の特定健康検診査受診券、白色が後期高齢者医療長寿健康診査受診券になる。ピンク色は全員に送られ、それ以外は対象者に同封される。
- ・ A3用紙に受診方法や日程などを記載している。検診は、地域の会場に集まる集団検診と病院で受診できる個別健診がある。予約開始は6月3日水曜日からです。個別健診は各医療機関へ連絡が必要になる。集団検診受付はインターネット予約と電話予約がある。
- ・ 令和8年度からの変更点
個別検診でも骨粗鬆症骨粗鬆症検診を実施する。
前立腺がん検診、肺がんヘリカルCT検診の対象年齢を50歳以上に変更した。
- ・ レディース健診、マザーズ検診を継続実施する。
特定検診は、約1万円の検査を無料で受けられたため、委員からも、身近な人へ受診の呼びかけをお願いします。

(川原主幹) ※小林市の特定検診について報告

1.受診者数、受診率の推移

生活習慣病の早期発見、重症化予防を図り、市民の健康寿命の延伸につながるために検診がある。特定検診の受診目標値は国が60%だが、小林市は現状に合わせた目標値を定める。

コロナの時期に受診率が下がったが現在は40%台で保っている。国と比較を上回る受診率になっている。

令和7年度は速報値で43.6%と今までで一番高い受診率になる。

令和7年度の対象者数が6,533人と被保険者数の減少により、年々減少しているが受診率は安定している。

年齢別の受診については、40～64歳の働いている若い世代の受診率が低い。全国的でも同じ状況になるが、要因として職場検診を受けていることが考えられる。

今の対象者数では、65人が検診を受診したら受診率が1%上がる。

2.受診率向上のための対策

項目を5つでまとめている。

(1) は、対象者には全員通知を行い、市が行っている健康ポイントの付与実施する。

(2) は、仕事をしている方にも受診してもらえよう取り組んでいる。

(3) は、Web予約で24時間対応でき、専用のコールセンターを開設している。

特定検診とがん検診を一緒にすると一部検診費用が安く受診できるようにした。

(4) 対象者へ定期的にメールや電話等で受診勧奨を行っている。また、医療機関をはじめとした市内の施設等にのぼり旗やポスターなどの掲示をし、イベント等で啓発、受診勧奨を行う。

意見・質問

- ・ (高妻会長) 肺がん・結核レントゲン検診の受診票の案内時期発送時期について。案内が早すぎて忘れてしまう人が多いと思う。
(川原主幹) レントゲン検診と肺がん検診を統合したことにより、2年前から特定検診に同封して郵便料の削減で案内をしている。検診時期を忘れないように広報(メールやライン)をしていきたい。
- ・ (高妻会長) 検診場所が減少し、場所が遠くなり受診できない人はどうすればよいのか。
(川原主幹) 検診場所は、選挙の投票場所を元に検診車が止められる場所を選定している。駐車場等の安全面からご理解ください。
(若松委員) 受診機会の拡大について、集団検診では日曜が1日しか実施していない。拡大と呼べるのか。
(川原主幹) 医療機関(個別検診)を土曜(午前中)にも実施していることから、拡大の項目に記載している。
- ・ (有木委員) 検診案内にある集団検診の場所が「ヒイラギアリーナ」になっている。新しい名称だけでは場所を理解されないのでは？
(川原主幹) 通知案内の封筒(裏面)に地図を掲載している。今後、国スポ・障スポの実施会場にもなることから、市民にも周知されるのではと考えるが、場所の記載について検討していく。
- ・ (柿木委員) 骨粗しょう症検査は集団検診や個別検診で検査内容は同じか？
個別検診は整形外科系の病院では実施しないのか。
(川原主幹) 個別検診の医療機関によっては検査機材が違うので内容が変わるので事前予約の際に確認してほしい。医療機関が検診実施を判断しているため、整形外科には精密検査で受診をすることになる。
他にも疑問があれば、健康推進課にお問い合わせください。

7 連絡事項

- ・ 次回開催予定
第2回を令和8年8月中を開催予定としている。時期が来たら案内を通知する。
- ・ そのほかの質疑について
特になし。

9 閉会

令和8年6月3日記載